

平成25年12月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 個人質問

6番 三宅文雄

1. 観光の振興について

- 1) 本市の観光の振興を図るためには、地域のまちづくり協議会との連携は不可欠だと思います。具体策はお持ちか伺います。
- 2) 本市の特産品のひとつである葡萄を醸造し、販売するワイナリーを誘致したらどうか伺います。
- 3) 市内の観光地への案内看板が少ないので増やしていく必要があると思います。そのような考えはあるのか伺います。

11番 西田久志

1. 協働のまちづくり事業の進捗状況と今後について

- ①市内各地区で行われている、協働のまちづくり事業の具体的な内容と進捗状況を伺う。
- ②協働のまちづくり事業に対して、行政の今後の支援について伺う。

2. 国民健康保険事業の現状と今後について

- ①保険者の支払う治療費の多額なものの内容を伺う。
また、個人で支払われた最高額を伺う。
- ②医療費軽減には、特定健診やジェネリック医薬品の使用など有効策がありますが、有効に活用されているのか伺う。

③今後の医療費の推移をどのように見込まれているか伺う。

20番 森本典夫

1. 3学期制実施までのプロセスについて

いよいよ、平成26年4月1日から市立幼・小・中・高すべてで3学期制実施が決まりました。実施まであと4カ月弱しかありません。

今後、学校・保護者・児童生徒などに、この制度実施をどのように徹底していかれるお考えなのか、実施までのプロセスをお聞かせください。

2. 「健康寿命日本一」を目指す自治体として、足の「ひろのば体操」を普及しては

足の指を広げて伸ばす「ひろのば体操」が、転倒防止や運動能力のアップにつながるということで、いま注目されています。

「健康寿命日本一」を目指す自治体として、この「ひろのば体操」を普及してはどうですか。

3. 「観光案内ボランティア」の育成を

現在、井原市には「観光案内ボランティア」の育成をする制度とか予算付けがされておりません。

今後、観光客の一層の増加を目指すのであれば、市内全域の観光地を案内する「観光案内ボランティア」育成のため、何らかの手立てをすべきではないですか。

4. 「井原の方言集」の全戸配布と方言の伝承方法の構築を

井原市制施行60周年記念事業として「井原の方言集」の発刊が間近に迫っています。60周年記念ということなので、これを思い切って全戸配布し、市民に井原の方言をより一層知っていただくことと同時に、今後、有効活用するべきだと考えます。是非全戸配布の実現を望みますがどうですか。

また、昨今、方言が再認識されているなか、これを後世に伝えていくため、市として伝承方法や学習するシステムの構築を考える必要があると思いますが、そのお考えはおありでしょうか。

5. 農業を守り農家の育成・強化のため、農機具購入者に補助金の交付を

昨今、農業を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しております。そんな中で、農業を守り、農地を守るため農家は懸命に頑張っておられます。

今後も農業を続けてもらうため、高価な農機具を購入した人に、農業を守り農家の育成・強化を援助し、また、農家の頑張りに対し、自治体として何がしかの補助金を交付し、援助するべきだと考えますがどうですか。

6. 放送内容を正確に理解し、より一層理解を深めてもらうため、緊急告知端末器「お知らせくん」の放送を2回続けては

緊急告知端末器「お知らせくん」から流れる音声を、たえず集中して聴いている時ばかりではありません。流れた時、一瞬気になることが流れ「えっ！」と思ったけれども詳しく聞き取れなかったということがあります。

こういう時のため、「もう一度繰り返し流して欲しい。」という要望があります。この要望に応えるため、放送を2回続けていただきたい。

2番 河合謙治

1. 井原堤の桜について

井原市の桜の名所としては、井原堤、相原公園、芳井堤がありますが、その中でも年代的にも本数的にも井原堤が代表格であります。

井原堤は、大正3年に郷社足次山神社の大塚信男宮司の提唱によって、有志がソメイヨシノの苗木150本を植えたと言われていています。一時期は、県内外から1日数万人の見物客が集まり、多くの屋台も出ており商店街では大売出しをするなど大変なにぎわいでありました。今では害虫などの発生で枯死する樹木もあり、昔の輝きを失っていましたが、10年ほど前から井原町まちづくりの会で管理をし、再度桜まつりを実施しております。

また、来年度は、井原堤の桜を植えてちょうど100年目で、「井原堤の桜100周年」と銘打ち、従来以上のイベントとして実施するよう井原町まちづくりの会の人々が検討中であります。そこで、

①井原市の観光行政として、「井原堤の桜100周年」にどのような対応をさ

れるか伺います。

②今後も、より一層桜の寿命を延ばす為に、100年目を契機に、専門の樹木医に樹勢回復治療をすべきと考えますがどうか伺います。

2. 井原魅力再発見事業の新設について

これまで、視察等で何カ所も他市町村を見て来ましたが、どの市町村も商工業の横ばい、農林水産業の低迷、人口の減少で、市町村の財政運営が厳しい状況にあります。その中でも何カ所かは、観光の見直しを行っている所がありました。

そういう観点から井原市を見てみると、一級品の観光地はないにしろ、たくさん観光地が市内に点在しているように思います。そこで、

①市内観光地のPR拡大

②市内観光地のハトバス化

に対応することはできないか伺います。

13番 大 滝 文 則

1. 学校給食における食育について

①食育についての考え方とこれまでの取り組みについて伺う。

②地元農産物（地産地消）の利用率アップへのこれまでの取り組みについて伺う。

③生産者の顔が見える地元農産物を学校給食に取り入れるため、契約農家及び契約団体等を募集し、学校給食支援会員登録制度を導入してはどうか考えを伺う。

2. 産業振興政策と雇用について

1) 地域の発展・保全を考えると働く場所の確保は大切な課題である。

①地域経済状況の把握について伺う。

②企業誘致への取り組みについて伺う。

2) 企業誘致に積極的に取り組むための推進協議会を議会と一緒に設立してはどうか考えを伺う。

3. 財政状況について

1) 現在の状況と今後の見通しについて、合併特例制度の動向を含めて伺う。

2) ふるさと納税の取り組みについて

①現在までの取り組みについて伺う。

②ふるさと納税の課題と今後の展望について伺う。

③ふるさと納税獲得運営手引き書・フローチャートを作成し、それをもとに全国へふるさと納税獲得の発信をしてはどうか考えを伺う。

3番 荒木 謙 二

1. 井原市美星天文台の現状と今後の取組みについて

①本年度、20周年の節目を迎え、今日までの成果と取組み、また、今後の天文台としての役割、課題について伺う。

②昼間、雨天等の対応について伺う。

2. スポーツふれあい交流事業「夢の教室」の検証と今後の取組について

①全ての小学校において実施された「夢の教室」の実施状況、並びに児童の反応等はいかがであったかについて伺う。

②「夢の教室」の検証結果と来年度の取組みについて伺う。

5番 惣台己吉

1. 第3次井原市情報化計画について

市は、井原放送が計画しているデータ放送を今後どのように活用しようとしているか伺う。

2. 第6次総合計画後期基本計画について

第6次総合計画後期基本計画の基本目標1「心豊かでたくましいひとを育てるまち」の重点分野「郷土愛の醸成」について、具体的にどのような取組みをしているか伺う。

10番 簀戸利昭

1. 職員提案の活用について

1) 職員の改善提案を聴いておられますか伺う。

2) 井原市を元気あるものにするため、職員提案に予算をつけて実施してはいかがか伺う。

2. 有害鳥獣対策の充実について

1) 有害鳥獣捕獲用わなの免許補助の利用状況はどうか伺う。

2) 猟友会に有害鳥獣駆除班の増員をお願いしたらどうか伺う。

3) シカが出没しているため、補助金を出して捕獲したらどうか伺う。

1. 健康マイレージ制度の導入について

井原市では、第6次総合計画における基本目標の1つに“いつまでも健康ではつらつと生きるまち”を掲げている。

そして、その基本目標に向け「井原市健康増進計画（第2次健康いばら21）」を策定し、その計画に基づき個人・家庭・地域と学校・企業・行政とが連携・協力し、それぞれのライフステージに応じた市民の主体的な健康づくり運動を推進していくとしている。

計画を着実に推進する手法として、例えば、静岡県袋井市では「健康チャレンジ！！すまいる運動 健康マイレージ制度」に取り組んでおられる。一言で言うと、健康づくりの実践記録を市へ報告するとポイントがたまり、いろいろな特典が付与されるというものである。

本市においても、このような取り組みを導入される考えはあるか伺う。

2. 「いばらっ子生活リズム向上プロジェクト」について

子供たちが、基本的な生活習慣を身につけることが肝要であると考えます。

井原市では、「いばらっ子生活リズム向上プロジェクト」としてさまざまな施策を展開されている。

この取り組みの具体的内容と成果について伺う。

1. 井原市環境基本計画の進捗状況等について

井原市環境基本計画は大きく分けて、第1章から第5章まであり各章の進捗状況を伺う。また本計画は平成18年から平成27年までであるが、井原市の最終目標はどのくらいなのか伺う。

2. 井原市技術職員等について

団塊の世代の方々が一気に退職され、ベテランの技術職員が少なくなっている

昨今、井原市における技術職員の人員状況及び10年20年後を見据えた技術職員の後継者を、どのように考えているのか伺う。

7番 坊野 公治

1. 井原市の教育施設の耐用年数について

市内教育施設（特にプール）の建築年度と耐用年数について伺う。

また、老朽化した施設の今後のあり方について伺う。

2. 野焼き防止とごみ減量化対策としての雑草・剪定屑の有効利用について

家庭から出る雑草、剪定屑は現在燃やすごみとしてごみ集積所に出すか、クリーンセンターへの搬入となっている。家で燃やしてしまうと野焼きとなり、近所の迷惑行為となっている現状がある。

雑草・剪定屑の有効利用のために回収ボックスを設置してはどうか伺う。

14番 大鳴 二郎

1. 民生委員への活動支援及び活動助成について

幼児虐待から高齢者の安否確認まで自治体から依頼される職務内容は広がっている。職務範囲が広がるほど求められる能力も高くなり、民生委員推薦のハードルを上げる形となっている。加えてそもそも手が不足している中で、住民の意識の低下により地域活動への参加が消極的となり、その影響で民生委員を推薦する地元自治会も苦勞している。また仕事量に比べて活動費への助成が少ない。市としてはどの様に考えているか伺う。

2. お知らせくん設置後の問題点と今後の課題について

平成25年度で緊急告知端末器の設置がすべて完了となるが、今までに住民から問題点の指摘があったと思われるが、その指摘内容及び対応について伺う。また芳井・美星地域には現在防災無線や有線放送があるが、この住民に愛された放

送設備については、今後どのような取り扱いになるか伺う。

3. 小児メタボへの対策について

メタボリック症候群は、大人だけでなく子供たちの間でも深刻な問題である。睡眠や食事といった生活習慣を改め、そして肥満を防ぐため、市としても積極的な取り組みが必要だと考えるが、学校教育の場で行っているか、また把握しているか伺う。

4番 柳井一徳

1. 災害時の正しい行動手順による減災について

①防災マップ、小田川洪水ハザードマップについて伺う。

- ・マップは市内各戸に配布されるものかどうか伺う。

②防災ヘリについて伺う。

- ・防災ヘリの要請の基準について伺う。

③避難所へのペット帯同について伺う。

- ・ペットの避難所への帯同は可能かどうか伺う。
- ・環境省のペット救護対策ガイドラインによる当市の避難所でのペット対策を伺う。

④緊急告知端末器『お知らせくん』の配布率と設置率について伺う。

- ・芳井、美星を含む市全体の配布率と設置率について伺う。
- ・設置後、使用具合の検証をしたかどうか伺う。
- ・未設置宅へは市としてどう対処するのか伺う。

1. 投票率向上に向けた対策について

- 1) 本年、7月に行われた参議院選挙の投票率は岡山県が48.88%であり、井原市では47.32%でありました。また、4月の井原市議会議員選挙も前回投票率を約7%下回る63.78%であり、投票率の低下は顕著でありました。また、その他の各選挙においても投票率が低下傾向にあるように感じます。その要因として、1つに政治への無関心。2つに政治への不満や不信。3つには投票しても無駄というあきらめ等があると言われてはいますが、選挙結果は有権者の生活に影響があることから、今後、更なる投票率向上に向けた意識の醸成が必要と考えます。本市、選挙管理委員会として投票率の低下についての考えと、今後の投票率向上に向けた取り組みについての考えを伺います。
- 2) 本年、7月に行われた参議院選挙においては、前回の参議院選挙より中国地方5県で投票所が284カ所減少しており、岡山県でも25カ所減少しています。その多くは中山間地の投票所であります。過疎化、高齢化による有権者の減少、さらには行革による職員数の削減で投票所の維持が困難になったことが要因のようであります。本市としても現状41カ所の投票所の直面する課題だと思っておりますが、現状での統廃合に向けた方向性をお知らせください。
- 3) 全国や中国地方の中山間地に多くの投票所を抱える自治体では、投票所が遠距離で投票が難しい高齢者や交通弱者の投票支援策として、送迎タクシーを導入して投票率低下抑制に取り組んでいるところが出てきています。本市としても今後の課題として考えてはと思っておりますが、現状でのご所見をお聞かせください。
- 4) 昨今の選挙では期日前投票が認知され投票も増えつつありますが、期日前投票の際には投票所で選挙当日に投票できない理由等を記入することになっていきます。しかし、あらかじめ投票所入場券の裏面に理由項目が記載できるようにしておけば、期日前投票がよりスムーズにできるようになると考えますが、ご所見をお聞かせください。

2. 井原市公営住宅等長寿命化計画の進捗状況について

- 1) 井原市第6次総合計画後期基本計画で「井原市公営住宅等長寿命化計画」の策定が謳われ、平成25年度の当初予算にも500万円が計上されていますが、その基本的な考えと現状での進捗状況についてお聞かせください。
- 2) 市内の市営住宅の現状をみると、耐用年数を超えて老朽化が進んでいる住宅があるように思います。市営住宅は建築後、耐用年数を考慮しつつ規定の周期ごとに点検をすることとなっていると思いますが、本市の具体的な点検状況についてお聞かせください。
- 3) 良質な公営住宅を提供する基本的な考えの中で、高齢者や障がい者等が優しい住環境で生活が出来るようにすることが「公営住宅ストック総合活用計画」の中でも謳われていましたが、本市の対応は充分であったとお考えでしょうか伺います。

3. 婚外子の保育料減免について

先日の新聞報道に「婚外子の保育料減免」との記事が掲載されていました。内容は笠岡市の取り組みで、未婚者に減免措置がなく、同じひとり親の世帯ながら婚姻歴の有無で負担の差が生じるのは適切でないと判断し、負担格差を解消するために寡婦控除を適用し、未婚者の子どもの保育所の保育料を減免するものであります。本市としても対象者が居住されているのではと考えますが、今後の対応についての考えを伺います。

17番 井口 勇

1. 市道の維持管理について

①幹線市道の支障木切除について市の考え方を伺う。

②道路側溝の清掃管理はどのようにしているのか。また、老朽化した道路側溝の整備について伺う。

2. 星空サミットについて

①市としての今後の対応について伺う。

②星空サミットを活かした観光によるまちづくりについて伺う。

1 番 西 村 慎次郎

1. 井原市マスコットキャラクター「でんちゅうくん」を活用した井原市のPR活動について

1) 井原市制施行60周年記念事業の1つとして誕生した井原市マスコットキャラクター「でんちゅうくん」について、誕生して半年が経過したが、この6カ月の「でんちゅうくん」の活動内容と成果について伺う。

①ゆるキャラグランプリ2013の結果

②東京・国立劇場への派遣

③その他の活動

2) 今後も継続して「でんちゅうくん」を活用した井原市のPR活動に取り組んでいかれると思うが、どのような活動を予定されているか伺う。